

大阪・関西万博に向けた関西観光アクションプラン【概要】

- 関西の観光・交通の回復に向けて、「大阪・関西万博」を最大の好機と捉え、国が支援・実施する取組の方向性と重点的に取り組む事業等について、近畿地方整備局・近畿運輸局・関西観光本部の3者で「大阪・関西万博に向けた関西観光アクションプラン」をとりまとめた
- 「テーマとストーリー」「人材」「情報」「交通」の4つの視点で地域を「つなげる」ことで、関西の魅力を最大限発揮し、「住んでよし、訪れてよし」の観光地域づくりを目指す
- 大阪・関西万博が開催される2025年に向け、観光立国推進基本計画（第4次）に基づき関西から観光を復活させる

「住んでよし、訪れてよし」の観光地域づくりの実現

【基本的な方針】 第4次観光立国推進基本計画（2023～2025年度）

- (1) 持続可能な観光地域づくり戦略
- (2) インバウンド回復戦略
- (3) 国内交流拡大戦略

地域の更なる魅力向上を通じて、旅行者・地域住民の双方の好循環によって
「住んでよし、訪れてよし」の観光地域づくりを実現

関西観光の活性化に向けた4つの視点

関西のポテンシャルを最大限発揮すべく4つの視点で地域を「つなげる」

1. テーマとストーリー

サステナブル、ガストロノミー、アドベンチャー、インフラ観光 等

2. 人材

地域の人材ネットワーク構築、関係者連携、人材育成 等

「住んでよし、訪れてよし」

3. 情報

関西MaaSの活用、観光DX、デジタルマーケティングの推進 等

4. 交通

二次交通対策、ラストワンマイル、観光列車等のコンテンツ提供 等

関西全体をパビリオン化

- 万博開催に合わせて、関西全体をパビリオン化することで万博来場者の関西周遊を促進
- 万博来訪を利用した誘客を行うため「関西観光展」を実施し、地域性を活かしたコンテンツ造成や観光の高付加価値化等の取組を推進
- 関西MaaSを活用し、地域内外のシームレスな移動サービスの提供を促進



【取組例】

- ◆ 大阪・関西万博のテーマ・コンセプト及びSDGsを意識したコンテンツ提供や特別イベント等の実施
- ◆ 地域内外の移動に「関西MaaSアプリ」を活用することで交通機関利用を促進

【特別イベント等の取組例】



弘法大師座像公開



姫路城天守等公開

※地図：国土地理院地図を加工して近畿運輸局が作成

～3者が手を携え、取組効果を最大限に発揮～

近畿地方整備局

社会資本の整備

近畿運輸局

観光・交通政策の
一体的な推進

関西観光本部

広域連携DMOとして
取組を実施

万博の賑わいを、大阪の賑わい、関西の賑わいにつなげ、さらに全国へと拡げることで、関西から観光立国を復活！